

世界銀行債券ファンド（毎月分配型）

愛称：ワールドサポーター

新興国市場の足元の状況と今後の見通しについて

2016年11月8日に行なわれた米大統領選挙の結果を受けて、先進国株式市場は大幅な上昇となった一方、新興国市場からは急激に資金が流出しました。そうした中、主要通貨に対して円安が進行したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

本資料では、新興国の足元の状況や、今後の見通しなどについて、当ファンドの実質的な運用を行なう日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドの見解をご紹介します。

設定来の運用実績

World
Supporter

<基準価額の推移>

(2007年6月21日(設定日)～2016年12月19日)



(2016年12月19日現在)

基準価額
8,774円 (税引前分配金再投資ベース)
3,075円 (税引前分配金控除後)
純資産総額
270億円

<分配金の推移(税引前、1万口当たり)>

(2016年12月19日現在)

2007年8月～2012年10月	2012年11月～2016年1月	2016年2月～2016年12月	設定来合計
60円/月	40円/月	20円/月	5,560円

- ※ 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
- ※ 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものと計算した理論上の点にご留意ください。
- ※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合があります。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称：ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

新興国市場の足元の状況について

World
Supporter



米大統領選挙の影響は足元で沈静化

- 米大統領選挙においてトランプ氏が勝利したことを受け、同氏の政策への期待感などから先進国株式市場は急上昇する展開となりました。一方で、米国金利が上昇したことから、新興国市場は11月末にかけて大幅な資金流出に見舞われました。IIF(国際金融協会)によると、11月中の新興国からの資金流出は約242億米ドルに及び、うち2/3程度は債券市場からの流出となりました。
- しかしこうした過剰な反応は短期間にとどまり、足元の新興国市場は小康状態を保っています。背景には、トランプ次期大統領が選挙期間中に掲げた極端な政策について主張を和らげたことや、そうした政策に対しては議会の同意を得られる可能性が低いとの認識が広がったことなどがあります。



米利上げペースは引き続き緩やか、 市場の不透明感が残るものの、大きな混乱が起こる可能性は低い

- 12月13～14日にかけて開催されたFOMC(米連邦公開市場委員会)において、FRB(米連邦準備制度理事会)は1年ぶりとなる利上げを決定しました。同時に発表された政策金利見通しにおいて、2017年の利上げ回数の想定が、前回(9月)の2回から3回に引き上げられたことは、市場参加者にとって若干のサプライズとなりましたが、これは過去に比べると非常に緩やかなペースであり、FRBは今後の金融政策について引き続き緩やかなスタンスを示していると言えます。
- 新興国市場が軟調となった2015年には、7,000億米ドルを超える資金が新興国から引き揚げられましたが、そうした混乱を経て現在も新興国市場に残る投資家には、短期的な変動に振られず、比較的長期投資を選好する傾向があると考えられます。
- 世界経済の先行き不透明感から、投資家の新興国に対する慎重な見方は今後も継続するとみられるものの、上記のような理由から、2013年5月に米量的緩和の縮小が示唆されたときのような市場の混乱が起こる可能性は低いと考えます。

本資料は、当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の運用会社である日興アセットマネジメントヨーロッパリミテッドからのコメントをもとに作成しています。当コメントは、資料作成時点における市場環境について、運用担当者の見方あるいは考え方を記載したものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。また、見解は変更される場合があります。

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

今後の見通しについて

World
Supporter

- 下記のような理由から、2017年も引き続き新興国経済を取り巻く環境は改善するとみており、新興国市場への資金流入が期待できると考えます。

新興国経済の成長率回復

- 近年、新興国経済の成長率が停滞する一方で、先進国の成長は加速し、2015年にかけて双方の差は縮小しました。
- しかし2016年の予想では、この差は再び拡大しました。今後は新興国の中でも経済規模の大きなブラジルやロシアが景気後退から脱するとみられ、**新興国の経済成長は引き続き力強さを増すもの**と考えます。



商品市況の回復

- 過去の過剰投資がもたらした供給過剰問題が次第に解消に向かう中、**資源価格は今後数年にわたって上昇基調を維持するもの**とみています。
- 新興国の多くは資源輸出国であることから、商品価格の回復は、こうした**資源国の経済を下支え**するとみられます。



新興国通貨の脆弱性低下

- 多くの新興国では、近年**経常収支が大幅に改善**しており、通貨の脆弱性低下が期待されます。
- また、新興国の中には、足元で通貨の総合的な価値を示す実質実効為替レートが過去の平均水準を下回る国が多く、そうした国では概して貿易収支が改善傾向にあることから、今後は**為替水準の回復**が期待できます。



財政政策による世界経済の成長

- 現在、多くの国で緩和的な金融政策が採られていますが、米国を筆頭に、今後は**経済成長を後押しするための財政政策へと、政策の転換が進む**と考えられます。
- 財政政策による経済の活性化は世界経済の成長につながり、今後**先進国の輸入増加**をもたらすと考えられます。



当ファンドの投資通貨国について

- 我々は、原油価格は2017年を通して堅調に推移するとみており、産油国であるロシアやメキシコ、コロンビア、ナイジェリアなどに注目しています。
- インドは経常収支が大きく改善していることに加え、高い経済成長や、海外直接投資の流入が継続していることなどから、投資対象として有望な国の一つであると考えます。
- また、ブラジルでも経常収支の大幅な改善が、通貨の安定に寄与するとみられます。さらに、同国の相対的に高い金利水準も魅力的です。

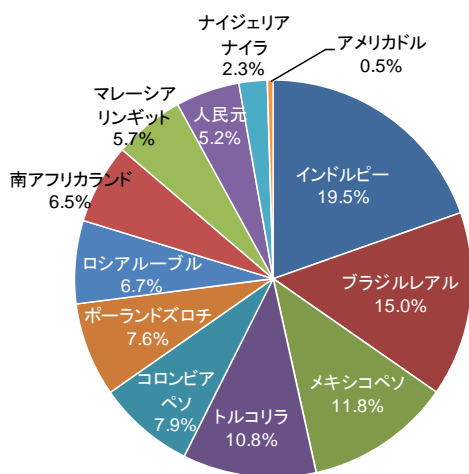
当ファンドは引き続き慎重に新興国市場の動向を見極めつつ、今後も相対的に高い利回りと通貨の値上がり益の獲得をめざして運用を行なってまいります。

ポートフォリオの概要（2016年11月末現在）

World
Supporter

- 当ファンドの主要投資対象である外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」のポートフォリオの内容です。

【外国通貨別構成比率】



※ その他がある為、合計が100%とならない場合があります。

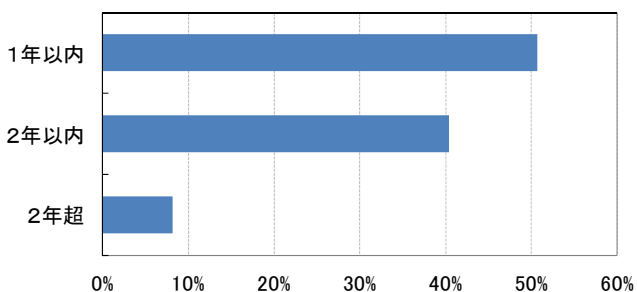
【格付別構成比率】

Aaa	99.1%
Aa	0.0%
A	0.0%
Baa以下	0.0%
平均格付	Aaa

※ 格付はMoody's、S&Pのうち、高い格付を採用しています。

※ 平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

【残存期間別構成比率】



※ 変動利付債は次回利払い日までの日数で計算しています。

【ポートフォリオの特性値】

ポートフォリオの最終利回り	7.60%
ポートフォリオの直接利回り	5.83%
ポートフォリオの平均残存年数	1.04年
組入債券の銘柄数	31銘柄

※ 利回りは、個別債券および短期金融資産について加重平均したものです。

※ 最終利回りは、債券および短期金融資産を満期まで保有した場合の利回りです。

※ 利回りは将来得られる期待利回りを示すものではありません。

※ 各比率は当外国投資信託の純資産総額比です。

※ 上記は、日興アセットマネジメント ヨーロッパ リミテッドより提供された情報をもとに、日興アセットマネジメント株式会社が作成したものです。

※上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

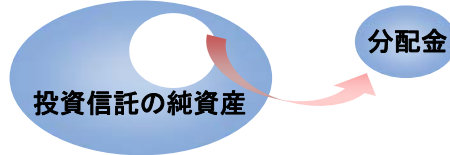
当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めさせていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

販売用資料

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

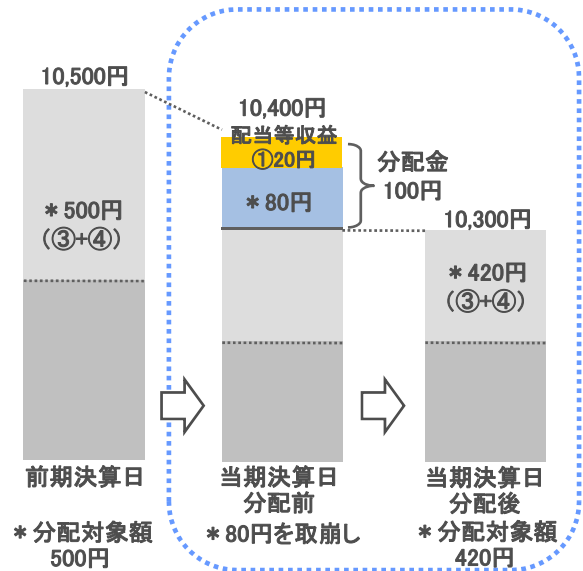
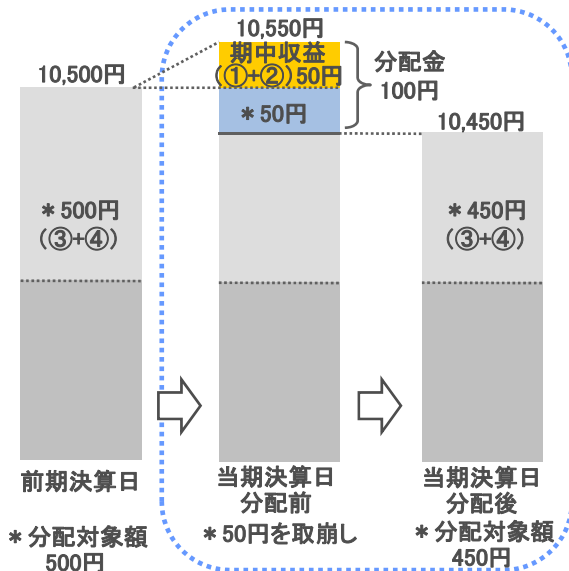


- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合

前期決算から基準価額が下落した場合

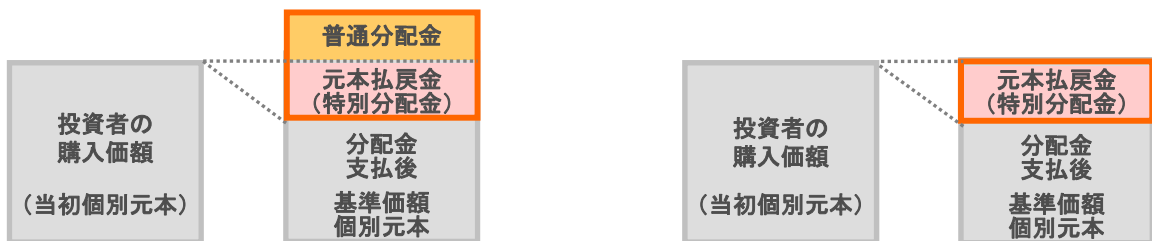


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。
 ※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金 : 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
 元本払戻金 : 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、(特別分配金) 元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

■お申込みに際しての留意事項

「リスク情報」

- 投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。
なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
- 当ファンドは、主に債券を実質的な投資対象としますので、債券の価格の下落や、債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【為替変動リスク】【カントリー・リスク】【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

「その他の留意事項」

- 当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を高めたいことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／債券
- ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社ないしは委託会社の照会先にお問い合わせください。
- ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額
- ご購入不可日 : 購入申込日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、購入のお申込みの受付は行ないません。
詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 信託期間 : 無期限(2007年6月21日設定)
- 決算日 : 毎月12日(休業日の場合は翌営業日)
- ご換金不可日 : 換金請求日が英国証券取引所の休業日、ニューヨーク証券取引所の休業日、ロンドンの銀行休業日、ニューヨークの銀行休業日のいずれかに当たる場合は、換金請求の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- ご換金代金のお支払い: 原則として、換金請求受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

■手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

<お申込時、ご換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 : 購入時手数料率は、3.24% (税抜3.0%)を上限として販売会社が定める率とします。
※ 分配金再投資コースの場合、収益分配金の再投資により取得する口数については、
購入時手数料はかかりません。

換金手数料 : ありません。

信託財産留保額 : ありません。

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

信託報酬 : 純資産総額に対して年率1.295% (税抜1.223%)程度を乗じて得た額が実質的な
信託報酬となります。

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率[年率0.972% (税抜0.90%)]、投資対象となる
ケイマン籍円建外国投資信託「ワールドバンク・ボンド・インカム・ファンド クラスA」の組入れに
係る信託報酬率[年率0.323%程度]となります。

このうち、当該外国投資信託の信託報酬率は、純資産総額や為替相場によって変動します。

それに伴ない、実質的な信託報酬率も変動します。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

その他費用 : 目論見書などの作成・交付にかかる費用および監査費用などについては、
ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を
上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などについては、
その都度、信託財産から支払われます。

※ 組入有価証券の売買委託手数料などは、運用状況などにより変動するものであり、事前に
料率、上限額などを示すことはできません。

※ 当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なり
ますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会

受託会社 : 野村信託銀行株式会社

販売会社 : 販売会社については、下記にお問い合わせください。

日興アセットマネジメント株式会社

〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>

〔コールセンター〕 0120-25-1404(午前9時~午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社青森銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第1号	○		
株式会社秋田銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第2号	○		
株式会社阿波銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第1号	○		
株式会社イオン銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○		
株式会社池田泉州銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第6号	○	○	
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○		
株式会社岩手銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第3号	○		
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○		
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○
SMB Cフレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○		○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○		
オーストラリア・アンド・ ニュージーランド・バンキング・ グループ・リミテッド(銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第622号	○		
カブドットコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	
クレディ・スイス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第66号	○	○	○
株式会社佐賀共栄銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第10号	○		
株式会社佐賀銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第1号	○	○	
株式会社四国銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第3号	○		
株式会社静岡銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社七十七銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○	○	
株式会社十六銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○	○	
株式会社荘内銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第6号	○		
株式会社常陽銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○	○	
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○	○	
株式会社第四銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○	○	
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○		
株式会社千葉銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第39号	○	○	
ちばぎん証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第114号	○		
株式会社東京都民銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第37号	○	○	
株式会社徳島銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第10号	○		
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○		
株式会社長崎銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第11号	○		
株式会社西日本シティ銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第6号	○	○	
西日本シティTT証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○		
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○	○	
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号	○	○	
八十二証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第21号	○	○	
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1977号	○		
株式会社百五銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第10号	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○		
株式会社百十四銀行	登録金融機関	四国財務局長(登金)第5号	○	○	
株式会社広島銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第5号	○	○	
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○		
株式会社福島銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第18号	○		
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○	○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	
株式会社みずほ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○	
株式会社南日本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第8号	○		
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第5号	○		
株式会社宮崎太陽銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第10号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第38号	○		
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○

(50音順、当資料作成日現在)

当資料は、投資者の皆様へ「世界銀行債券ファンド(毎月分配型)／愛称:ワールドサポーター」へのご理解を
 高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、
 当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。